

我孫子市 節電対策でコンテスト

優れた「緑のカーテン」表彰



星野市長(左)から表彰状を受け取る受賞者
＝14日、我孫子市役所

節電への意識を高めても
らおうと我孫子市民や企業

を対象に今夏初めて行われた「緑のカーテンコンテスト」の受賞者が決まり14日、表彰式が同市役所で行われた。応募は企業・団体部門と一般市民部門で計157件に上った。最優秀賞を受賞した市民らに、星野順一郎市長が表彰状を手渡した。

「緑のカーテン」は日の当たる窓や壁を植物で覆い、室内の温度上昇を抑える節電対策。市は2009年度から、市内公共施設を対象に、表彰を実施。本年度は市地球温暖化防止推進協議会(エコライフあびこ)が「一般市民にも取り組みを広めたい」としてコンテストを主催した。

エコライフあびこ市手賀沼課職員が、応募書類や写真をもとにカーテンの大きさや厚みなどの出来栄を審査。一般市民部門の応募数149件のうち、斉藤洋子さんが最優秀賞、川澄隼さんら7人が優秀賞に輝いた。企業・団体部門には8件応募があり、設備工事業の成島設備が最優秀賞。公共施設では市立我孫子中学校など3件が受賞した。表彰式で星野市長は「取り組みを広げていくことが大事」と話していた。

深山恒男エコライフあびこ会長は「非常に立派なカーテンが多く、市民の節電意識が高いと感じた」と評価。来年以降も実施する計画だという。